

第42回 EMDR Weekend 1 トレーニングのご案内

処暑の候、みなさまにはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたび第42回 EMDR Weekend 1 トレーニングを、創始者 F・シャピロ博士が主催するカリフォルニアの EMDR 研究所の協力のもと開催いたしますのでご案内申し上げます。参加をご希望の方は下記をご確認の上、お申し込みください。

【日時】2019年11月2日(土)、3日(日)、4日(月・祝)

1日目 受付開始9時、研修開始9時30分／2日目、3日目 研修開始9時15分

- 昼食休憩 60分、昼食は各自(会場内での飲食はできません)
- 終了時刻 1日目17:30、2日目17:45、3日目17:15 (若干の延長がありえます)

【参加資格】日本 EMDR 学会が定めた参加資格

医師・免許取得後、少なくとも2年以上の精神医学又は心理学的な臨床経験を有する方。
心理職・「公認心理師」または、臨床心理士資格認定協会資格「臨床心理士」資格取得者。
(「資格取得者」とはトレーニング申し込み時点で登録完了者とする)

【定員】45名(予定)

【参加費】73,000円(税込。ベーシック・コンサルテーション代5時間分を含む。詳しくは別紙参照)

【会場】沖縄県立博物館・美術館 1F 博物館講座室

〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

【講師】市井雅哉 EMDR 研究所シニア・トレーナー

【受付期間】2019年9月6日(金)～13日(金) (消印有効。但し、定員に達した時点で締め切ります。)

※9月6日の消印から受け付けとなりますので送付日にご注意ください。受付開始日より早い消印のものは無効となります。(配達日指定サービスは郵便局での手続日が消印となりますのでご利用にならないでください。また、申込書の到着日ではなく消印日での判断となりますので速達で送付していただく必要はございません。)

※近年、数日で定員を超えることが多くありますのでご注意ください。(消印有効。審査後に参加の可否をご連絡いたします。)

【申込方法】

同封申込書(HPでも入手可能)に所定事項をすべてご記入の上、**返信用封筒**(ご自身の宛先が記入された定形最大封筒(A4用紙が3つ折りに入るサイズ)に82円切手を貼ったもの)を同封し、下記までご送付ください。

資格審査の後、全員に返信用封筒で参加可否をお知らせいたします。結果は開催日の1ヶ月前頃に送付する予定です。なお、ご受講いただける方には会場の地図、入金方法等が記載された受講案内を同封いたします。

《申込上の注意》

※こちらの Weekend1 トレーニングは地方特別開催のため、開催地である沖縄県の方に優先枠を設定しています。

※通常の Weekend1 トレーニングは11月29、30、12月1日(金、土、日)に東京で開催予定(後日案内掲載予定)。

※沖縄トレーニングへの参加決定通知が届いた方が、東京にお申し込みされた場合は無効とさせていただきます。参加決定通知到着後、ご自身の都合でキャンセルをされた場合も同様です。

【申込・問合せ先】下記で承ります。会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

主催: 日本 EMDR 学会*

事務局: 〒673-1494 兵庫県加東市下久米 942-1 兵庫教育大学 市井研究室

TEL&Fax: 0795-44-2278 e-mail: info@emdr.jp URL: www.emdr.jp

余裕があれば、下記の書物を前もってお読みください。必須ではありません。

推薦図書: EMDR—外傷記憶を処理する心理療法— フランシーン・シャピロ著 市井雅哉監訳 二瓶社

●講師紹介

市井雅哉 EMDR 研究所シニア・トレーナー、兵庫教育大学発達心理臨床研究センタートラウマ回復支援研究分野教授、臨床心理士、専門行動療法士。

急性、慢性の PTSD、恐怖症、ストレス、不安障害、うつ病の査定と治療が専門で約 30 年の臨床歴を持ち、現在、日本 EMDR 学会理事長、日本行動療法学会編集委員、EMDR Asia 理事を務めています。

これまでに EMDR に関して日本 EMDR 学会、日本外来精神医学会、日本カウンセリング学会、日本健康心理学会、日本行動療法学会、日本催眠学会、日本児童青年精神医学会、日本心身医学会、日本心理臨床学会、日本トラウマティックストレス学会、日本認知療法学会、日本バイオフィードバック学会、日本フリーサイセラピー学会、日本臨床催眠学会、WCBCT(世界行動療法認知療法会議)、韓国 EMDR 協会、アジア EMDR 学会などで講演歴があります。

●EMDR(眼球運動による脱感作と再処理法)

F・シャピロ博士が PTSD(心的外傷後ストレス障害)の治療のために 1989 年に発表した心理療法で、迅速かつ効果的な方法です。APA(アメリカ心理学会)、ISTSS(国際トラウマ研究学会)、英国保健省、イスラエル、フランス、米国防省、ドイツ、オランダ、北アイルランド、スウェーデン、オーストラリア、WHO などでも PTSD に対する EMDR の効果を実証されたものとして評価・推奨しています。

最近では、EMDR の適用範囲は、さまざまな不安、うつといった精神疾患から疼痛といった身体疾患までと広がっています。その過程で用いられる眼球運動が、情報処理モデルにおける神経生理学的活動を刺激することで外傷的な記憶の再処理を引き起こします。Weekend 1 トレーニングの修了で単回の PTSD や単一恐怖などに対応でき、Weekend 2 まで修了すると複雑性 PTSD、解離性障害、社会恐怖や人格障害などにも柔軟に対応できるようになります。

●F・シャピロ博士

カリフォルニア州パロアルトにある MRI (Mental Research Institute) の主任研究員、EMDR 研究所の所長、人道支援の NPO 組織 EMDR-HAP の創始者、The American Academy of Experts in Traumatic Stress の理事、Traumatology の編集委員を歴任。90 以上の EMDR 関連の著作があり、世界中でトレーニングを開催。(2019.6.16 逝去)

●研修は大きく、講義と実習、全く別日程のベーシック・コンサルテーション(別紙参照)に分かれています。講義は市井雅哉による一斉講義ですが、実習では参加者は 3~4 人一組で役割を交代しながら実習をします。9~10 人に 1 人の割合でファシリテーターが付き、実習をスーパーバイズします。この体制は、実習場面での急速な心理的变化に適切に対応するためのものです。

●参加ファシリテーター

太田茂行(生活心理相談室ナヌーク)、大塚美菜子(兵庫県こころのケアセンター)、菊池安希子(国立精神・神経医療研究センター)、白川美也子(こころとからだ・光の花クリニック)、仁木啓介(ニキ・ハーティー・ホスピタル)
各班のファシリテーターがコンサルタントとして、ベーシック・コンサルテーションを提供します。

* 日本 EMDR 学会 は EMDRIA(国際 EMDR 学会)から日本での EMDR に関する研修認定、資格認定を行う組織として認定されました(2004.2.26)。本研修への参加で、臨床心理士及び精神神経学会の更新ポイントを獲得できます。

Weekend1 修了時点で、日本 EMDR 学会と EMDRIA への入会資格が得られます。Weekend1 & 2 全日程及びベーシック・コンサルテーション 10 時間に参加なさった方には、日本 EMDR 学会から修了証が授与されます。

EMDR トレーニング(Weekend 1 沖縄)参加申込書

(すべての項目は楷書で、英文表記はブロック体でもれなく記入して下さい)

① 氏名			
② ①の英文表記			
③主たる所属機関名・ 部門・役職名			
④ ③の英文表記			
⑤資格(免許)・登録 番号および資格発行 機関・団体名			
⑥ ⑤の英文表記			
⑦住所(勤務先)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑧住所(自宅)	〒	フリガナ	
	電話	Fax	
	E-mail		
⑨連絡先の希望	勤務先・自宅(○をつけて下さい)		
⑩最終学歴(学部・専攻を 明記のこと)			
⑪心理・精神科 臨床経験年数 ※1	年	⑫主たる心理・ 精神科臨床の機関名	
⑬指導者・推薦者名 ※2	(精神科医・臨床心理士・その他)		
⑭所属学会名 ⑮(その英文表記)			

年 月 日申し込み 署名:

※1 臨床経験年数をお書きください。精神科医、心療内科医以外の医師の方については、精神科あるいは他の心理業務での経験年数をお書きください。

※2 注:必ずしも、EMDR 研修修了者である必要はありません。また、推薦者の署名が必要なわけではありません